

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

| | |
|--------------|--|
| 研究課題名 | 高度急性期病院における筋萎縮性側索硬化症患者の自宅退院に向けた看護師の役割と課題 |
| 研究責任者 | 看護部 二橋 美津子 |
| 研究実施体制 | 聖隷浜松病院 看護部 C9 病棟 |
| 研究期間 | 臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 11 月 |
| 対象者 | 筋萎縮性側索硬化症で当院に入院した患者さん |
| 研究の意義・目的 | 急激に症状が進行した筋萎縮性側索硬化症患者への看護を振り返ることで、病状の進行と患者を取り巻く家族の心理的状況に合わせた看護師の関わりを明らかにし、高度急性期病院における脳神経内科看護の役割を明確にします。 |
| 研究の方法 | <データ収集法> 電子カルテから入院経過、患者・家族の発言、看護師のケア内容や発言、退院指導内容を抜粋します。 <データ分析方法> 入院期間を急性期、移行期、退院調整期に区別し、患者家族の発言の変化を追いながら、看護師の行動の変化を振り返り、文献を使用し分析を行います。 |
| 個人情報の取扱い | 本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 個人情報開示に係る手続き | 個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。 |
| 資料の閲覧について | ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 問い合わせ窓口 | 聖隷浜松病院 (氏名) 二橋 美津子 TEL:053-474-2222(代表) C9 病棟 9:00~17:00 平日 |